

知財のチカラを活用した仲間づくりで収益拡大を目指す！

会社名 野原工業株式会社
 所在地 富山県南砺市井波885-11
 従業員 12名
 資本金 2,100万円
 売上高 -
 業種 土木工事、建築工事、水道施設工事業等



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- モラン工法について、これまで富山県内での自社施工にて工法を用いた施工を実施してきたが、全国各地からの引き合いの増加より、他事業者へのライセンス供与による工法の普及を目指している
- モラン工法の知名度の向上とライセンス許諾による事業の全国展開及びそのためのビジネスモデルの構築が課題

支援を受けてできるようになったこと

After

- モラン工法を軸にしたビジネスモデルの構築、ビジネス拡大に資するモラン工業会の創設準備ができた
- 他用途での施工機会をとらえた他用途展開を検討。合わせて知財的要素がないかを探索して必要に応じ出願へつなげる思考プロセスを確立できた

今後の事業展開の展望

Future

- モラン工業会設立に向けた準備(契約内容、実施許諾内容のブラッシュアップほか)を継続。施工受注も順調に進んでおり、また、遠方地域からの施工打診等も増えてきている状況から、工業会設立を本格化させる
- モラン工法における重機の治具に関してはまだまだ改良の余地があるため、知財に関し漏れがないように検討していく。モラン工法その他分野への適用の検討も継続

重点支援を受けた事業や商材



特許取得したモラン工法を全国に普及・事業を拡大させたいと考えている。
 モラン工法とは、畦の修復方法のこと。バックホウに掘削プレートを取り付け畦に溝を掘り、そこへベントナイト(水漏れ遮蔽材)を流し込み遮蔽層を形成し水漏れを防ぐ方法。富山県内では自社で施工し、他県ではモラン工法をライセンス供与し自社施工はやらないことを前提とした事業を考えている。
 「農業農村整備民間技術情報データベース」登録済

【出典】野原工業株式会社提供資料
<https://nohara-kougyo.com/>

重点支援を実施するにあたって整理した課題



取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
ビジネスモデルの構築	<ul style="list-style-type: none"> 地域毎の慣習・慣例が強く、会社の規模も小さいため、県外での自社施工には限界があり、フランチャイズ展開・ライセンスアウトが必要 ベントナイト（購入材料）、治具（メーカーへ委託生産）、施工方法（特許とノウハウ）を組み合わせたビジネスモデルによる利益確保が必要
モラン工法の改善における知的財産の創出	<ul style="list-style-type: none"> これまでの改良点について、特許、意匠、ノウハウ等の整理・検討が必要となる。更なる改良についても一度検討しておく必要がある
モラン工業会（仮称）の立ち上げに向けた取り組み検討	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスモデルの一部としてモラン工業会を立ち上げる モラン工業会メンバーは、モラン工法に興味を抱いた業者の集まりでフランチャイジーの候補
事業に必要な契約内容の検討	<ul style="list-style-type: none"> 県外での事業展開は基本的にフランチャイズとライセンスアウトになるため、契約・規約等を整える必要がある。その事前段階としてノウハウの特定と管理も必要となる
モラン工法適用先の多角化とその知財戦略	<ul style="list-style-type: none"> モラン工法を圃場の漏水対策に使うだけでは通年の作業にならないため他の用途開発及びその展開が必要となる

重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
<ul style="list-style-type: none"> モラン工法関連特許調査への助言 県外展開のためのビジネスモデル（ベントナイト（購入材料）、治具（メーカーへ委託生産）、施工方法（特許とノウハウ）を組み合わせた）の策定への助言 フランチャイズ展開ならびに（フランチャイズ以外の）ライセンス供与による事業検討のための助言 	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスモデルの確立 モデル構築を丁寧に実施し、実行性と実効性の高いモデル創出につながりつつある ベントナイト仕様特定及び特許出願によるこのベントナイトへの誘導シナリオを整理 	弁理士、 中小企業診断士
<ul style="list-style-type: none"> 治具の改良点における知財創出、事業戦略に必要な知財の洗い出しへの助言 	<ul style="list-style-type: none"> ○知財化活動の確立 知財創出に向けた社内活動のシナリオを整理。着実な実践を目指す 他用途展開対応による知財性要素の抽出の理解 	弁理士、 中小企業診断士
<ul style="list-style-type: none"> モラン工法を全国区にするための手法としてのモラン工業会（仮称）設立の検討、ブランド戦略検討への助言 	<ul style="list-style-type: none"> ○モラン工業会の設立準備 他県施工会社1社とライセンス契約締結、モラン工業会設立のため準備を着実に前進 	弁理士、 中小企業診断士
<ul style="list-style-type: none"> ライセンスアウトのためのノウハウの特定と管理、フランチャイズ展開のための契約・規約作成（全国展開するための準備として）への助言 	<ul style="list-style-type: none"> ○法務知識の獲得 協働先との役割を明確にし、事業上ならびに工業会設立上それぞれの必要な契約内容を整理することができた 	弁理士、 中小企業診断士
<ul style="list-style-type: none"> モラン工法の用途開発の検討への助言 	<ul style="list-style-type: none"> ○他用途展開の機会確保 ため池の防水工事を施工予定。知財要素の有無を抽出する観点で対応していく 	弁理士、 中小企業診断士

支援チーム紹介

リーダー専門家:弁理士 藤掛 宗則

活用専門家:中小企業診断士

窓口担当者:富山県知財総合支援窓口 林原 幹雄

PO(プログラムオフィサー):塩谷 良知